

平成25年8月19日

都市計画局

（担当 都市企画部都市総務課）  
TEL 075・222・3641

## 京都市公共事業新規採択時評価の評価結果について

京都市では、平成10年度から、本市が実施する公共事業の実施過程をより透明なものとし、予算等を効率的に執行するため、公共事業評価を実施しています。

新たに事業採択する事業のうち、総事業費が10億円以上の公共事業について、事業を所管する各局<sup>注1)</sup>が設置した評価委員会において、事業着手の必要性や効率性等について評価を行い、その結果を公表しているところです。

このたび、新たに新規採択時評価を行いましたので、その結果について、下記のとおり公表いたします。

### 記

事業種別	番号	事業名	総事業費 (億円)	評価 <sup>注2)</sup>	事業所管部署
街路事業	1	京都駅南口駅前広場の整備	約33億円	A	歩くまち京都 推進室

注1) 事業を所管する各局とは、新規採択時評価の対象となる公共事業を所管している局で、環境政策局、産業観光局、都市計画局、建設局、消防局、交通局及び上下水道局である。

注2) 評価とは、京都市公共事業新規採択時評価実施要綱第6条の評価手続き及び方法に基づく総合的な評価で、以下のとおり4区分で評価している。

(区分の内容)

A：緊急かつ戦略的な整備が必要な事業

B：計画的に順次整備される事業

C：他の整備手法等を調査し、一層コスト縮減策なども検討する必要がある事業

D：事業の見直し

### 【本件に関する問い合わせ先】

都市計画局歩くまち京都推進室 TEL 075-222-3483

### 【資料の公開について】

別添の「平成25年度 新規採択時事業 評価調書」は、8月21日から総合企画情報化推進室情報公開コーナーにおいて閲覧できます。

# 平成25年度新規採択事業 評価調書

(平成25年度 新規採択時評価実施)

## 事業の概要

事業名	京都駅南口駅前広場の整備		
事業区間	自：南区東九条東山王町 至：南区西九条北ノ内町	延長、幅員又は面積	L=800m, W=36~74m
総事業費	3,268百万円	完成予定年度	平成27年度
事業概要 (目的・内容等)	<p>本市最大のターミナルである京都駅の南口駅前広場については、昭和39年の新幹線開通に伴い、八条通を变形させて駅前広場を整備したため、限られた面積や細長い形状での様々な課題があった。そのため、平成21年度から学識経験者や関係機関などの参画を得て検討を進め、市民の皆さまからの意見を募集し、「歩くまち・京都」の視点に立ったリニューアル計画の基本方針を以下のとおり策定した。</p> <p>(基本方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「歩くまち・京都の玄関口」使いやすく、人にやさしい交通結節点としての機能の確保</li> <li>2. 「京都の顔」おもてなしの心を備えた広場の形成</li> <li>3. 「まちの賑わい」活気溢れる賑わいの広場の形成</li> </ol> <p>この基本方針をもとに八条通を含めた南口全体の空間を再編し、八条通の車線数を見直して施設配置に必要な広場面積を確保し、公共交通が利用しやすく、自動車交通と歩行者・公共交通の調和のとれた駅前広場の整備を実施する。</p>		
箇所図			

## 事業を巡る社会経済情勢等

社会背景と今後の動向	京都駅南口駅前広場周辺では、京都高速道路、国道24号八条坊門立体交差等の幹線道路が整備され、また、平成22年6月には大型商業施設が開店するなど、歩行者を含めた交通流動が大きく変化しており、駅前広場及び八条通の時代の変化に合わせた整備が必要となっている。
市民ニーズ	平成22年度に、本市の提案した整備計画案について実施した2度の意見募集においては、 <ul style="list-style-type: none"> <li>• バリアフリーに優れる平面移動のできる駅前広場がよい。</li> <li>• 八条通の車線の一部を広場空間に活用する発想はよい。</li> <li>• 施設配置案のような南北の行き来がしやすい、利便性のよい駅前広場にしてほしい。</li> <li>• 待ち合わせ、時間待ちができ、京都に不慣れな人にも分かりやすい案内のある駅前広場にしてほしい。</li> </ul> といった、計画案に賛同する多くの意見を頂いており、駅前広場の整備への期待がうかがえる。

## 上位計画から見た事業の有効性

京都市基本計画	事業ごとの上位計画	具体的な効果等
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ うるおい</li> <li>■ 活性化</li> <li>■ すこやか</li> <li>■ まちづくり</li> <li>■ 行政経営の大綱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画</li> <li>• 京都市都市計画マスタープラン</li> <li>• 「歩くまち・京都」総合交通戦略</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共交通の乗り継ぎ利便性の向上</li> <li>• 安全・安心で快適な歩行空間の確保</li> <li>• 駅前広場や八条通の交通の秩序化</li> <li>• 京都駅と南側のまちの連続性の改善</li> </ul>

## 事業の要件

環境・景観等への配慮事項	<p>「使いやすさや優しさに配慮した施設の配置」、「待ち合わせの場、憩い・集いの場となる広場の確保」、「街路樹による魅力ある景観の形成」などにより、京都の美しさやおもてなしの心が感じられるとともに、ユニバーサルデザインに配慮した「歩くまち・京都」、「国際文化観光都市・京都」の玄関口としてふさわしい駅前広場を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 南北自由通路の前には、南口の顔となる2階の高さの拠点広場を整備</li> <li>• 街路樹により落ち着いて歩ける空間を整備</li> <li>• 景観にも配慮した駐輪場を整備</li> </ul>
市民と行政のパートナーシップ	<p>整備計画については、2回の市民意見募集により広く市民の意見を聴取し、その意見を踏まえ策定した。また、整備後の広場の適正利用に向けた協議会を立ち上げ、住民や交通事業者等と協働して、広場の適切な管理や利用について検討していく。</p>

## 事業の評価結果

評価	A
理由	<p>本事業は、現在の駅前広場の交通の輻輳の改善や、歩行者・自転車の安全性の向上、魅力ある空間の形成を図ることで、京都市が目指す人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現し、公共交通の利便性の向上を図るものである。「歩くまち・京都」、「国際文化観光都市・京都」の玄関口としてふさわしい機能・空間・景観となるよう、早期に実施すべき事業である。</p>

## 評価指標の算定結果

費用便益比（CBR）	<p>B/C = —</p> <p>※本事業の事業効果である、公共交通の利便性の向上や歩行者の安心・安全の確保については、その効果を貨幣価値に換算できないため、評価結果を算定することはできない。</p>
------------	---